

医療者になるための社会経験

『「死の医学」への日記』 柳田邦夫 著 新潮文庫 1999 年

《医療とは患者固有の人生の歩みと医療者の専門的職業としての歩みの交差するところで営まれる行為である、というとらえ方が大切だ。したがって医療者は患者の人生と生活の全体像をしっかりとらえた上で、治療方針を立てることを要請される。とりわけ死にゆく人とのかかわりあいにおいて、患者の内面にあるものを汲み取り、その人生の歩みを、崩壊でなく完成へと支援する取り組みこそが重要になってくる。言い換えるなら、「死の医学」とは、患者が精神生活において最後まで生を全うできるように支援する「生の医学」なのだ。》 引用:「死の医学」への日記 柳田邦夫

これは今から 5 年前、まだ私が医学生だった時に書いたものです。この図書館だよりをご覧になられている皆さんと同じ年代であったこともあり、読んでいただく契機になればと思い転用させていただきます。

『私は今春より、医学科 4 年生になり、順調にいけば 4 年後に臨床現場で患者と接することになります。柳田邦夫の言葉を借りるなら、患者固有の人生の歩みと交差し、多かれ少なかれその人生に影響を与えうる立場になります。

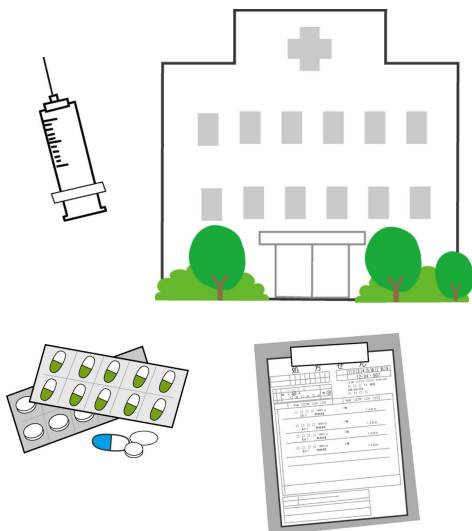
医師になってからの一年間は臨床能力を向上させるのに必死で、患者の人生背景を汲み取るためにあらゆる社会経験をする余裕はないと思います。これは医師として臨床経験を積む中で持ちえるものになっていくとは思いますが、医学生の今からでも経験できるのではないかと思います。

私は 1 年間浪人生活を体験しました。“浪人時代”といえば、一般的に暗いイメージを覚える方や、まさにその当事者であった方も居られるかもしれません。

しかし、社会経験・人生経験という観点からみれば、“挫折”に近い経験を、夢という光とともに経験できる機会はないでしょうし、また臨床現場で向き合うことになるであろう希望を失いかけた患者の気持ちに類似した感覚を、これほど身もって経験できることもないでしょう。確かに浪人は辛い。しかし、だれもが喜んで経験したいとは思わない事柄でも、それを経る過程で得られるものはある。私はこのような時期を勇気をもって前向きとらえ、その時期にしか出来ない経験を十分に味わいたいと思います。』

この書籍を通じ、皆さんにもこのような思いを感じていただければ幸いです。

(桐丘学園理事 関崎亮先生)



本学教員によるオススの1冊 ～栄養系～

『いのちの食卓』 辰巳芳子 著 マガジンハウス 2004年



日本の食生活に危機感を抱く料理研究家・辰巳芳子さんの著書の一冊である。日本料理の蒸し物や煮物、スープのレシピを交えつつ、本書では日本の伝統的な家庭料理こそ、私たちの「いのち」を輝かせるのに欠かせないものだという強い思いが語られている。日々の食事は、健全で元気な「いのち」をはぐくむものであり、私たちの「いのち」が躍動するのに欠かすことができない。それなのに、私たちの食卓は、いつのまにか、出来合いの食材やファストフードにとってかわられ、本来備わっている「いのち」の力が発揮できず、人生を全うできなくなっている。本書には、私たちが暮らす地域ごとの食材、家庭での丁寧な調理作業を見直し、「いのち」の輝きを取り戻したいという彼女の願いが込められている。『いのちの食卓』には、家庭の食に携わる人たちへの暖かなまなざしがあふれている。たとえば、毎日の食事づくりに追われる主婦(夫)に対して、日々の食卓はご飯が炊けて汁物ができて、魚を煮るか焼くかして、野菜の煮炊きができれば上出来であるとい

い、お弁当づくりももっと気楽でよいという。また、「人生を幸せに終えるための食」と位置づけるスープにまつわる数々のエピソードからは、それを口にする人たちへの思いやりも伝わってくる。他方で、素材を吟味して調味料を作る人々や生産農家を応援し、伝統に根ざした日本食の復活を目指す意気込みが感じられる。昨年から今年にかけて、辰巳さんの食生活から生き方までを追ったドキュメンタリー映画「天のしづく 辰巳芳子 “いのちのスープ”」が全国各地で公開された。本書を手にした学生は、ぜひこちらの映像にも出会ってほしい。そうすれば、彼女の丁寧な手仕事の様子を目にするだけでなく、素材の扱い方、食べ方や生き方について貴重な示唆を得られること間違いなしである。(生活科学科・橋爪博幸先生)

図書館司書からのオススの一冊 その1

『梟の城』 司馬遼太郎 著 新潮文庫 2002年

司馬遼太郎が直木賞を取った出世作。伊賀忍者である重蔵が秀吉暗殺を目指す歴史小説です。司馬遼太郎の初期作品には、忍者や密教、外法といった呪術、妖術関係の話が多いが、『梟の城』もまた、伊賀忍者同士の争いによる話が大筋となっている。

他の忍者ものの短編などと比べると、文体が少し硬いような気もするが、とにかく司馬遼太郎さんの小説はその巧みに唸ってしまう。

どうやってそんな資料を集めたのかと思うほど緻密な描写。流れるように描く、人間の心理。段落ごとの惹き込んでいく展開。そして、それらを実際の歴史に結びつけていく計算力。時間を忘れて読みふけてしまう小説でした。(島宮司書)



新刊
案内

本学教員によるオススの1冊 ～看護系～

『ピースサイン ～崇也、ハードルを越えろ!!～』 2007年

『ピースサイン2 ～崇也、永遠に続く時間(とき)を生きろ!!～』 2009年
滝澤由美子 著 文芸社

主人公滝澤崇也(たかや)君、17歳。走ることとパソコンとゲームに夢中な男の子。この物語はフィクションではない。現実にあったこと、そしてこの群馬県での出来事だ。私はこの本を、崇也君が入院していた病院の看護師から教えられた。実は彼女、本学短大看護学科の卒業生。「崇也君の頑張りに看護師である自分が励まされた。だから先生にも絶対に読んでほしい。」そう言われて一気に読んだ。



「泣いた!」「笑った!!」「感動した!!!」

陸上部だった崇也君。骨肉腫によって右下肢を切断することになった。術後は幻肢痛との戦い。リハビリの日々。たくさんの人との出会いの中で、義足を着けて走れることを知った彼は、果敢に挑戦する。しかし、転移が崇也君から走ることを奪っていく。転移を繰り返す中、家族とともに頑張った。でも、崇也君は旅立っていった。17歳だった。崇也君の闘病生活を、母親である著者が本にして残した2冊。ここに崇也君の生きた証がある。下肢の切断を決断しなければならなかった崇也君の思い、その崇也君を見守る家族の気持ちが赤裸々に著わされています。同年代である学生諸君、特に看護学科の学生にぜひ読んでほしい2冊です。(看護学科・三木園生先生)



読書の
ススメ

図書館司書からのオススの一冊 その2

『大河の一滴』 五木寛之 著 幻冬舎 1999年



生きるということは悩むことの連続。特に大学生のみなさんは日々、新しい悩みが生まれては消え、の連続なのではないでしょうか。悩んで悩んで、今私はどん底だなあと思うとき、視野が狭くなってしまったときに是非読んでいただきたい本です。

苦しんでいる時こそチャンスです。この本には、実は私は幸せなんだと気付けるきっかけがたくさん詰まっています。

読書を通じて見聞を広め、視野を広げましょう。

きっと、日々の生活で凝り固まった心がすっとほどけるのを感じられるでしょう。(中村司書)

～相互貸借について～

お探しの資料が図書館に無い場合、以下の方法で他の図書館の資料を利用することができます。

1. 直接訪問する

他の図書館を直接訪問して、資料を利用することができます。
紹介状を発行しますので、【他館利用依頼書発行願】※に必要な事項を記入し、提出してください。
利用可能かを問い合わせた後、紹介状を発行します。
日程に余裕を持って申し込んでください。
貸出や複写など、利用できる内容は各図書館によって異なります。



2. 文献複写を取り寄せる(有料)

著作権法に定められた範囲内で、資料の複写物(コピー)を手に入れることができます。
【相互利用申込書】※の利用形態「複写」にチェックを入れ、書誌事項(論文等の情報)を記入し図書館受付に提出してください。依頼から到着まで2日～10日ほどかかります。



複写料金は依頼先の図書館によって異なりますが、
モノクロ:1枚30～50円、+送料・手数料
が一般的です。
到着連絡時に料金をお知らせしますので、必ず1週間以内に料金と引き換えでお受け取りください。

3. 図書の現物を借用する(有料、県内は一部無料)

図書を郵送か群馬県内を走る巡回車で取り寄せて利用することができます。

【相互利用申込書】※の利用形態「借用」にチェックを入れ、書誌事項(図書の情報)を記入し、図書館受付に提出してください。

依頼から到着まで2日～10日ほどかかります。
郵送の場合、往復の送料は自己負担です。

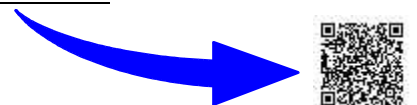
到着連絡時に料金をお知らせしますので、図書館受付にてお支払いください。

図書によっては本学図書館内での閲覧のみとなるものもあります。

雑誌、参考図書、貴重書、CD、DVDは借用できませんので、文献複写や直接訪問を申し込んでご利用ください。



※【他館利用依頼書発行願】と【相互利用申込書】は図書館ウェブサイトからダウンロードできます。



ツール
紹介

～データベース・電子ジャーナルの紹介～



メディカルオンライン

日本国内の学会・出版社発行の雑誌に掲載された医学、歯学、薬学、看護学、医療、技術、栄養学、衛生・保健などのあらゆる医学関連分野の「医学文献」から検索し、必要な文献はその場で全文閲覧・ダウンロードが可能。

つまり

ネット上で雑誌記事や論文等が読め、必要と感じたらダウンロードし、印刷が出来る

「医中誌 Web」とは、特定非営利活動法人医学中央雑誌刊行会が作成する国内医学論文情報のインターネット検索サービスで、教育機関・企業など向け提供されているサービスです。

「医中誌 Web」では、国内発行の、医学・歯学・薬学・看護学及び関連分野の定期刊行物、のべ約 5,000 誌から収録した約 750 万件の論文情報を検索することが出来ます。

また、メディカルオンラインと連携しており、全文をシームレスに入手できます。



医中誌Web

"メディカルオンライン PDF"をクリックすると...



PDFファイルが見れる!!

平成25年度図書館の活動について

- 4月 ・ 新入生図書館ガイダンス[基礎、OPAC、並びに配架説明]
- 5月 ・ 平成25年度第1回群馬県大学図書館協議会幹事館会議参加[平成25年度授業計画協議]
- 7月 平成25年度第1回図書委員会
- 8月 ・ 第11回群馬県図書館大会 第2回分科会検討会参加[第3分科会のテーマについて協議]
- 9月 ・ 第11回図書館大会第3回分科会検討会参加[第3分科会の詳細について協議]
・ 平成25年度NIIにおけるNACSIS-CAT目録システム講習会(雑誌コース)受講
- 10月 ・ 蔵書管理システム『情報館』定期メンテナンス
- 11月 ・ 第11回図書館大会の運営へ参画(第3分科会のスタッフとして参加)
- 12月 ・ 図書館だより第07号発行
・ 図書館実務研修(2日目)に参加[予定]
- 1月 ・ 図書館実務研修(3日目)に参加[予定]
- 2月 ・ 書架整理[予定]
- 3月 ・ 平成25年度群馬県大学図書館協議会総会参加[予定]
・ 蔵書点検[予定]

図書館スタッフ紹介

スタッフ 紹介

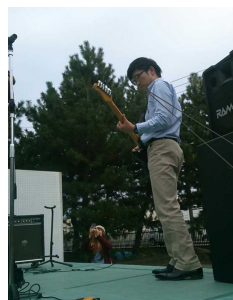
館長
図書委員

マチャコンHT
 [看護学科] 高橋美砂子、三木園生
 粕谷恵美子
 [栄養学科] 田口和人、旭久美子
 [別科] 鈴木由美
 [生活科学科] 清水佳代子
 [アート・デザイン学科] 山本博一
 島宮拓也、中村真澄、吉田圭吾

図書館員

図書館司書プロフィール

氏名： 吉田 圭吾
 担当： 目録、全般
 趣味： ギターほか
 好物： ラーメンほか
 県内のラーメンのことなら
 お任せください！！
 ←の写真は学園祭での1コマ



学生の著作の紹介

『チャンスボードに光と影』 平川彰浩 著 文芸社 2008年

私たちが一生をかけて求めるものは、目に見えない幸せです。何を幸せと感じるかは、その人それぞれに違うけれど、満たされた時の、なんとも言えない、心からの喜びは皆に共通していることでしょう。

そして、その幸せは自分の人生を変える要素を含むだけではなく、周囲の人にも影響を与える何かを秘めているものだと信じています。

殺伐とした世の中だからこそ、ちょっとした幸せを、誰にでも感じられる幸せを、求めて追ってほしいと思います。

また、既にあなたが自分なりの幸せを感じているのだとすれば、この書籍を通して、その幸せが本当に自分にとって'掛け替えのない幸せ'であるかどうかを、もう一度確かめるキッカケとなればいいなと思います。

(看護学科2年 平川彰浩さん)

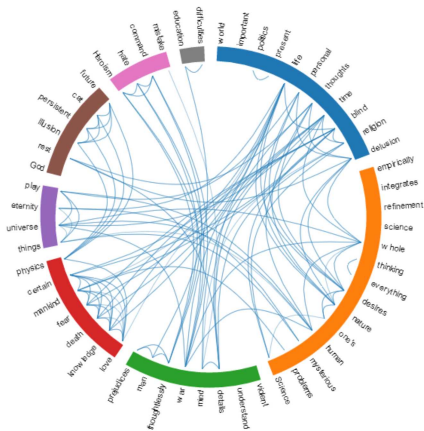
チャンス
ボードに
光と影

平川彰浩

表紙作品について

表紙に
ついて

●●● 作品について ●●●



計算言語学において、言葉は、それとは別にはではなくその近くで現われる傾向がある言葉が特徴になります。単語の外観がある他の言葉の外観と関連していることが知られています。表紙の図形は、アインシュタインの56の引用「例: Imagination is more important than knowledge. 想像力は知識よりもっと重要だ。」からの言葉の相関性車輪です。

(HTマチャコン 図書館長、工学博士)

編集後記

図書館だより7号の作成にあたり、様々な方から沢山のご協力をいただきました。心より感謝申し上げます。

さて、今回の図書館だよりでは、学生の作品(!)の紹介と、本学の理事からの言葉が目玉となっているのではないのでしょうか。

また、相互貸借やデータベースは、卒業年次に必ず役立つ事項になると思いますので、お気軽に質問してみてください。

図書館だより 2013 07号

2013年12月9日発行

発行：桐生大学・桐生大学短期大学部図書館

URL <http://www.kiryu-u.ac.jp/university/library>

〒379-2392

群馬県みどり市笠懸町阿左美606番7

☎ 0277-48-9109(直通) 202(内線)

fax 0277-48-9118

